



学力向上を図るための調査結果のお知らせ 校長 眞瀬 敦子

遅くなりましたが、今年度の学力調査の結果をお知らせします。引越し等もあり、公表が遅くなりましたが、調査結果をもとに各教科担当の教員で授業改善のためのプランを作成し、後期より実施をしています。以下は、もとになった学力調査の結果と課題、改善策です。

1 6年生 練馬区小学校学力調査及び生活・学習意識調査 6月4日実施

(1) 国語

	関心・意欲・ 態度	話す・ 聞く能力	書く能力	読む能力	言語につい ての知識・ 理解・技能	国語全体
谷原小	79.9	75.6	78.9	68.8	71.6	72.8
練馬区	74.9	71.7	76.9	68.3	74.2	73.2

多くの観点で区の平均を上回りましたが、言語事項が下回ったために、国語全体が区の平均値を下回ってしまいました。今までの研究の成果から、「話す・聞く」と「読み取る」については、良い成果が得られました。言語事項については、全国平均は上回りましたが、課題としてとらえ、指導していきます。

言語事項の誤答を見ますと、文の構成について身に付いていないという傾向が見られました。現在、谷原小では、「書くこと」をテーマに授業改善を進めています。ここでは、見本文の活用、練馬の子らの活用をしていきます。しっかりとした文章に触れ、自分から書くことを通して、「書く力」はもとより、文の構成も身に付けるよう指導していきます。

(2) 算数

	関心・意欲・ 態度	数学的な考 え方	数量や図形に ついての技能	数量や図形につ いての知識・理解	算数全体
谷原小	46.5	53.1	74.3	72.4	69.5
練馬区	48.0	52.8	71.8	72.2	68.0

国語同様、多くの観点で練馬区の平均値を上回りました。ただ1つ、関心・意欲・態度が下回りました。3つの観点で区の平均値を上回ったことは、低学年から少人数指導を行い、個に応じたきめ細かい指導を継続してきた成果が出てきたと考えます。

ただし、関心・意欲・態度に関わった誤答を見ると、文章題を自分の立てた理由をもとに計算して答えを導くというものでした。残念ながら、このタイプの問題練習が不測していたこと、どのように書いて答えていったらいいのか分からない、といったことが原因と考えます。

今後は、演習を増やすとともに、上でも述べましたが、書く力の育成を図り、国語で培った力を他の教科でも活用していきます。

2 5年生 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 7月5日実施

(1) 教科の内容

	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 話す・聞く		技能 書く		知識・理解 言語		読む	
	谷原小	東京都	谷原小	東京都	谷原小	東京都	谷原小	東京都	谷原小	東京都
国語	86.7	84.8	70.5	68.1	72.1	75.9	73.7	76.1	47.7	44.8
社会	90.2	92.2	55.0	54.3	71.6	70.3	42.5	40.8		
算数	75.3	81.7	56.8	57.0	63.1	65.8	60.3	62.8		
理科	94.7	95.0	62.5	61.0	46.8	48.8	57.6	61.0		

教科で考えると、社会が最も良く、3つの観点で東京都を上回った。以下、国語、理科、算数と上回る観点が減っている。残念ながら、算数は、1観点も上回らなかった。算数の授業改善（解法を伝え合う、計算の方法の確認など）や少人数指導を進めることで解決する。

一方、観点で結果を見ると、6年生同様に今までの授業改善の成果から、話す・聞く、思考・判断・表現については、4つの観点の中で最もよい結果だった。ただし、他の3つの観点からは、芳しいものではなかった。

今後は、授業改善プランに基づき、授業改善を行い、学校として学力向上を目指す。

(2) 読み解く力に関する内容

	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	谷原小	東京都	谷原小	東京都	谷原小	東京都
国語	68.4	73.7	57.9	61.5	17.9	17.8
社会	57.9	58.6	35.8	40.1	43.2	39.3
算数	64.2	59.4	13.7	9.2	22.6	24.8
理科	84.2	84.2	71.6	68.7	21.1	19.7

必要な情報を取り出す力、読み取る力に課題があります。国語と社会では、取り出す力や読み取る力を育てるために、文章や図・表等の内容を把握させ、求められている情報は何でどこを捜すのか、といった指導を行います。

(3) 意識調査（調査結果から顕著なもの）

① 疑問の解決方法

「授業中の疑問をどう解決するのか」という質問に対して、友達に聞く、自分で調べる、授業後に先生に聞くといった項目の回答割合が、全国平均値よりも低かったです。疑問を分からないままにしては、困ります。教室では理解度を確認しながら授業を進めていますが、是非不明な点は質問するようお願いください。

② 家庭の学習時間

1日当たり2時間以上行う児童が2割を超えています。同じく、1時間以上2時間未満の児童が約4割。いずれも全国平均を上回っています。ただし、30分未満の児童が約2割と家庭で学習する児童としない児童の差が広がりつつあります。

③ 学習用具の用意

入学より言われてきたことですが、2割強の児童が学習の用意をしないという結果でした。忘れ物が減らず、授業における学習効果が上がりません。ぜひ、前日にはランドセルに入れる学習用具の確認を習慣づけましょう。